

一般質問

もう待てない 長期化に懸念



無党派

横山 榮吉

問 22年度計画で八日市新川完成は、後20年の歳月が必要と公表された。整備完了まで更に15年も先であり、市民からは憤怒の声が聞こえるが、今後の対応は。

また、都市計画道路近江八幡八日市線の進捗状況は。

加えて、先の県議会への要望で「県政の厳しい状況下、県内で東近江市域の道路予算は多いほうである」と説明を受けたが、どのような認識か。
答 国道421号から愛知川合流点までは、27年度末に暫定通水されます。これより上流部は、現在、土質調査中で順次進められる計画です。
新川の暫定掘削は、蛇砂川下流域の水害防止に大きく期待されることから、県方針に対し早期に進めるよう、更に強く要望し



農道として整備が待たれる市辺町地先の農道

算が投入されているということでしたが、今後も県の方針に対しあらゆる機会に、早期の整備を強く要望していきます。

ます。

県事業である近江八幡八日市線の進捗状況は、県道高木八日市線の市辺町地先から、土山蒲生近江八幡線の下羽田町地先2.6kmを事業区間として、土地改良事業と併せた用地取得や個別の用地交渉を進め、早ければ28年度から市辺町地先の工事に着手される予定です。
また、県の公共事業の配分からすると東近江土木管内は2番目に多い予

問 保育園への入所申込み手続きをしたが、定員オーバーのために入所できなかったという話を聞いた。

女性の社会進出が進み、共働き世代が増える中、待機児童となることなく、安心して職場復帰ができる環境を作るべきでは。

答 待機児童問題は、子どもを産み育てやすいまちづくりの根幹であり、その解消に向け、強い思いで取り組んでいます。
今後も認定こども園化などの施設整備を進め、30年4月には施設の確保が可能と考えます。
なお、保育士等の不足も課題となっており、確保できるよう全力で取り組みます。

米原ルートの実現を



無党派

大洞 共一

問 8月22日付新聞は、「北陸新幹線ルート選定敦賀以西調査費要求へ」と大々的に報じた。

小浜若狭ルートは概算建設費9500億円、所要時間33分。湖西ルートは7700億円、35分。米原ルートは5100億円、45分と発表されており米原ルートは費用的に有利だが、時間的には不利と報じられている。

なお、3ルートとも経済効果は不明である。米原ルートに決まれば、東海道新幹線新駅は

5年以内に実現出来ると考える。

早急に官民挙げての誘致活動が必要であり、誘致協議会の立ち上げを検討すべきだ。

答 北陸新幹線の延伸計画は、先日JR西日本が、すでに検討されている3ルートに加え、小浜駅と京都駅を通る独自案を策定したとの報道があり、大変危惧しています。

県内では経済界が中心になって、8月21日に決起集会を開催され、知事に対して要望書を提出されました。

知事も「大変心強い提案だ。実現に向けて努力したい」とコメントされ、関西広域連合の方針に従っ

て、米原ルートを要望していく姿勢を示しております。

当市としても、米原ルート実現に向けた県の官民挙げての取り組みに対し、連携、協力することで気運を盛り上げていきたいと考えています。

問 ふるさと寄附を多くしていただくために、特産品の返礼割合を上げるべきでは。

答 今年度から、ふるさと寄附者にお礼として当市の特産品を贈呈する取り組みを開始し、9月7日までに約1000名の方から1351万円の申込みをいただきました。

9月からはクレジット決済システムを導入し、手軽に寄附していただけるようになり、順調に申込数が伸びています。

返礼割合については、国から表示、明示しないようにと要請がありますので、公表することは控えさせていただきます。

